

当院にて大腸癌でご加療中の方へ

当院では大腸癌の発生・進展についての研究を行っております。

【研究課題】

直腸癌手術標本を用いた免疫寛容関連因子発現性とその臨床・病理学的因子への関連性に関する検討（多施設共同研究）（審査番号：10476-（4））

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学医学系研究科腫瘍外科学講座
東京大学医科学研究所

研究責任者 石原聡一郎東京大学医学系研究科腫瘍外科学講座・教授

担当業務 東京大学医学系研究科腫瘍外科学講座は病理検体と病歴データを用いた免疫組織学的解析を担当する。また、東京大学医科学研究所は免疫染色に用いる抗体の作成とデータ解析を担当する。

【研究期間】2014年07月29日～2019年07月28日

【対象となる方】2001年1月1日～2014年2月28日の間に本院大腸・肛門外科で大腸癌に対する検査や治療（下部消化管内視鏡による生検や切除、あるいは手術）を施行された患者さん。検査や治療の前に担当医より病理検体を研究に使用することについて説明をうけ、紙面で同意いただいた方を対象とします。

【研究の意義】大腸癌の発生や進展の仕組みについては研究が進んでいますが、全貌はまだ明らかになっていません。大腸癌の発生や進展に関わるたんぱく質を明らかにすることで、これを標的とした新しい治療につなげることができると考えています。

【研究の目的】大腸癌の発生や進展に重要なたんぱく質を免疫組織学的な方法を用いて明らかにします。

【研究の方法】この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や尿検査結果、画像検査、病理検査などのデータを収集や、保存されている検査後の病理検体を用いて行う研究です。データは東京大学医科学研究所に 対応表のある匿名化をされて送られ、東京大学医学部附属病院と共同で解析を行います。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで2019年12月31日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。ご連絡をいただいた時点ですでに結果が発表済みである場合など、対応が難しい場合もあります。またご連絡をいただかなかった場合は、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等において発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの人体試料や情報・データ等は、解析する前に氏名・住所・生年月日等の個人情報情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において研究責任者である石原聡一郎が、東京大学医学系研究科腫瘍外科学講座第7研究室のLANに繋がっていないパスワードロックのかかるスタンドアローンのパソコンで厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行い、結果をあなたにお知らせすることもできます。

この研究に関する費用は、なお、この研究に関する費用は、東京大学大学院医学系研究科臓器病態外科学講座・腫瘍外科の研究費（東京大学委任経理費）から支出されています。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。尚、あなたへの謝金はございません。

2019年2月

【問い合わせ先】

東京大学医学部附属病院大腸・肛門外科 講師 川合一茂
住所：東京都文京区本郷7-3-1
電話：03-3815-5411（内線：33246、37070）
Eメールでのお問い合わせ：kawaik-sur@h.u-tokyo.ac.jp

医療機関名 東京大学医学部附属病院
診療科名 大腸・肛門外科 診療責任者名 石原聡一郎